

議会だより

114号

2016.4



地域交流館(てとて)にて絵付け教室の合間に介護予防体操

第1回臨時会	専決処分、条例改正など	2P
第1回定例会	教員住宅(1棟4戸)・JAビートハーベスター導入補助 西原学園体育館改修補助ほか 補正予算、条例廃止	3P
第2回臨時会	地方創生加速化交付金が決定	
	平成28年度予算決まる 予算審査特別委員長報告	4P
	予算審査特別委員会 質疑レポート	5～8P
	一般質問 5名が登壇	9～13P
	町民インタビュー・親しまれる広報をめざして	14P
	所管事務調査報告(産建文教常任委員会)・三町議員研修会	15P
	スポットライト・要望意見書・人事	16P

平成28年
第1回定例会
3月3日~14日

教職員住宅(単身用)建設工事
1棟4戸75,287千円

平成28年
第1回臨時会
1月25日

条例制定

- 町行政不服審査会条例の制定について
主な内容は行政に対する町民からの不服を
3人の委員で審査するものです。

賛成多数

- 行政不服審査法の全部改正に伴う関係条
例の整備に関する条例の制定について

主な内容は個人情報保護条例、固定資産評
価審査委員会条例、手数料徴収条例、町営土
地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例な
ど一括整備するものです。

可決

- 町情報公開条例の全部改正について

可決

- 町行政手続条例の制定について

主な内容は行政指導の中止等の求め、処分
等の求めなどです。

可決

条例一部改正

- 町行政手続における特定の個人を識別す
るための番号の利用等に関する法律に基
づく個人番号の利用に関する条例の一部
改正について

主な内容はマイナンバーの利用には個人情
報保護の観点から厳格な規制がかけられてお
りマイナンバーを利用する義務を追加するも
の です。

可決

- 町人事行政の運営等の状況の公表に関す
る条例の一部改正について

可決

- 職員の旅費に関する条例の一部改正につ
いて

可決

- 職員の給与に関する条例の一部改正につ
いて

単身赴任手当の改正をするものです。

可決

- 町職員の特殊勤務手当の支給に関する条
例の一部改正について

医学研究手当を月額20万円から10万円に減
額するものです。

可決

- 町パークゴルフ場設置条例の一部改正に
ついて

桜岡高台パークゴルフ場を無人化して自動
券売機を設置するものです。

可決

専決処分

- 町税条例等並びに国民健康保険税条例の
一部を改正する。

主な内容は税制改正大綱において個人番
号の利用扱いを見直す方針が示されたこと
により条例の一部を改正するものです。

2案件とも可決

※専決処分とは議会の権限に属する事項につ
いて町村長が議会に代わって意思決定を行なう
こと。専決処分をすれば議会が議決したのと
全く同じ法律効果が発生する。

条例改正

- 職員の給与並びに特別職の給与に関する
条例の一部を改正する。

主な内容は人事院勧告による国家公務員の
改正給与法が成立したので条例の一部を改正
するものです。

2案件とも可決

条例制定

- 教育委員会教育長の期末手当の特例に関
する条例を制定する。

主な内容は教育長の賞与規定を制定するも
の です。

可決

補正予算

- 平成27年度一般会計に153万円を追加し
ました。

可決

- 平成27年度国民健康保険事業特別会計
に321万円を追加しました。

可決



無人化になった券売所

- 平成28年度介護保険事業特別会計予算
可決
- 平成28年度簡易水道事業特別会計予算
可決
- 平成28年度下水道事業特別会計予算
可決

補正予算

- 平成27年度一般会計補正予算
交付税の増と経費節減により各種基金に1億9,500万円を積み立てるものです。可決
- 平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算
一般被保険者療養給付費増加による国・道の負担金増加によるものです。可決
- 平成27年度町立診療所特別会計補正予算
診療収入の増によるものです。可決
- 平成27年度介護保険事業特別会計補正予算
施設介護サービス給付費の減額に伴うものです。可決
- 平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算
施設新設・改修工事残等による減額補正です。可決
- 平成27年度下水道事業特別会計補正予算
長寿化事業の国からの調整により補助金の減額によるものです。可決



水道料5%アップに

平成28年
第2回臨時会
3月24日

補正予算

- 平成27年度一般会計補正予算
地方創生加速化交付金が決定され剣淵町に6,360万円が交付されますので、剣淵農業ブランド化推進事業と絵本の里けんぶち観光地域づくり推進事業に充てるもので平成28年度実施に繰越明許となります。可決

- 町上下水道事業運営審議会条例の一部改正について
今後消費税が上がれば審議会を開かなくても付加できるものです。可決
- 町給水条例の一部改正について
水道料金を5%アップするものです。可決

- 町公共下水道条例の一部改正について
使用料を水道と同じく5%アップするものです。可決
- 町農業集落排水施設の一部条例改正について
使用料を5%アップするものです。可決

条例廃止

- 町趣味の作業所設置条例の廃止について
剣淵VIVAマルシェに対し事務所として賃貸することからです。可決

予算

平成28年度各会計予算については特別委員会に付託し慎重に審議しました。詳細については別紙に掲載しています。

- 平成28年度一般会計予算
可決

賛成討論

高橋 毅議員

一般会計予算は総額36億4,800万円を計上し、厳しい財政状況の中で剣淵農業ブランド化推進事業補助金、ビートハーベスター更新事業補助金、プレミアム商品券事業補助金、レークサイド内装工事、中学校トイレ洋式化工事、高校教職員住宅1棟4戸の建設工事、高校実習農場環境整備、給食センター改修工事等の予算を計上しています。また、日本ハムファイターズの中田・石川両選手のふる里応援大使との交流・町のPR実行委員会補助もあり、社会福祉協議会事務局体制の強化や、保育所新所長の配置による機能の充実にも期待しています。人口減少・少子高齢化が進む中、役場職員が一丸となり町民の声に耳を傾け町民が安全で安心して暮らせる絵本の里けんぶちとなるよう期待するところです。

- 平成28年度国民健康保険事業特別会計予算
可決
- 平成28年度国民健康保険町立診療所特別会計予算
可決
- 平成28年度後期高齢者医療特別会計予算
可決

総額
52億3,050万円
原案可決

平成28年度
予算決まる

一般会計
36億4,800万円

- プレミアム商品券事業補助金
- 教職員住宅建設工事
- 中学校3階トイレ改修工事
- ビートハーバスター更新事業補助金

国民健康保険
町立診療所特別会計
9,320万円

国民健康保険事業
特別会計
6億730万円

介護保健事業特別会計
4億4,240万円

後期高齢者医療特別会計
4,800万円

下水道事業特別会計
1億9,100万円

簡易水道事業特別会計
2億60万円

予算特別委員会委員長報告



産業の振興を図るための
地域ブランドの確立が望まれます

予算特別委員会 委員長 武山 啓一

平成28年度予算においては、一般会計が前年度比1.5%減の36億4800万円、6特別会計を加えた総額は1.3%減の52億3050万円となります。財源不足の中で切り詰めるところは切り詰めて予算を編成できたことは大変評価できるところであります。中でも限られた予算の中、商工費でプレミアム商品券に約1000万円の予算が付けられたことは商店街の活性化につながるものと期待できます。農林水産業費ではビートハーバスターの更新事業等、町の基幹産業の継続・発展に大きな効果を期待できるものと思われれます。また、今年度においては上下水道料金5%値上げとなります。今回の値上げは前年度まで転嫁していなかった消費税分でありませんが、今後消費税が上がりその額を負荷することになりますので町民に対して水道事業の重要性を十分に説明し理解をいただくことが必要と考えます。

今年度から社会福祉協議会と保育所に新たに人材を登用する計画も出されており今後の体制強化が期待されます。しかし職員の通勤の面からも明らかになりましたが、住宅不足問題が深刻です。今年度は教職員向け住宅1棟4戸の建設と仲町南団地・西原団地戸別改修が6戸予定されております。その他公営住宅等長寿命化計画及び公営住宅ストック総合活用計画の継続計画が策定されますが、住宅の住み替えや空き家対策等すぐに実施できるところは早急に進めていただきたいと思います。国の地方創生加速化交付金に関する計画案も盛り込まれ、農業政策や町づくり政策もこれまで以上にスピード感を持った対応が迫られてきます。町長の施政方針で挙げられた地域ブランドを生かした産業の振興を図るための「けんぶちブランド」の確立に向けて、これまでの経験を活かしな一層の成果が期待されます。

財政的にも限られた中、官民一体となつて一人ひとりが知恵を絞り、厳しい時代の中でも今後益々剣淵が発展していくことを期待します。

平成28年度
予算特別委員会
質疑

歳入

高橋(毅)委員

自動車登録13年以上経過は20%の重加税となるので町民に周知を。田中住民課長

広報の2月号に掲載している。7月の納付書発行時にも詳しく周知する。

高橋(毅)委員

地方交付税は前回国勢調査比人口330人減でも27年と同額20億円でよいのか。

竹内総務課長

国では新たな人口減少対策で各市町村に補填もしているので前年同額で算定している。

生出委員

福寿寮の入所に町独自の支援策の必要性は。

酒井健康福祉課長

今後検討していきたい。

高橋(一)委員

桜岡パークゴルフ場の券売機の設置で看板や見回りの必要があるのでは。

予算特別委員会は3月8日から10日までの3日間開かれ慎重に審議しました。その中での質疑の一部を掲載します。

上林町づくり観光課長

トイレ清掃はレークサイド職員が、芝管理は高齢者事業団がそれぞれ対応するが巡回までは難しい。高橋(毅)委員

町内在住のふるさと納税者は何件で金額はいくらか。

竹内総務課長

町民が他市町村に納税している件数と金額は総勢10名以下、総額50万円以下です。

大澤委員

高校の28年度予算で農産物収入は450万円となっているが27年度の決算見込みは。

中村高等学校事務長

27年度決算は3月末で600万円前後となる予想で増収分は補正で対応する。

大澤委員

ふるさと納税の予算配分は。

竹内総務課長

絵本の里づくり事業に前年度比266万円の増、教育子育て支援事業に127万円の増、高齢者福

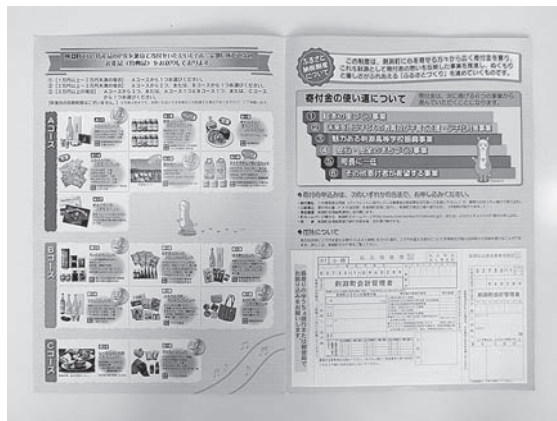
祉事業に約398万円の増となっている。

高橋(一)委員

ふるさと納税を当初予算で800万円で計上しているが2000万円位に設定しては。

竹内総務課長

昨年度に開設して1000万円を超えたが歳入予算では8割相当の金額を見込み、必要に応じて増額補正する。



増加が期待されるふる里納税

歳出

大河委員

議員報酬が全国的に見ても最低ランクなので特別職も含め報酬審

議会を開催すべきでないか。早坂町長

議員のなり手がいないのは報酬の部分も要因の一つであると思う。会議を開く方向で検討したい。

高橋(一)委員

昨年より休止している正午のサイレンの代わりのメロディーの放送開始は。

竹内総務課長

町の雰囲気合う音楽をある程度絞り込んだ。4月から試験放送をできるような形で検討している。

高橋(毅)委員

デジタル防災無線機5320万の事業内容と補助内容は。

竹内総務課長

基地局、移動型、携帯型等計9台をアナログからデジタルへの置き換えとなっており国からの補助金と過疎債が使える。

古山委員

地域おこし協力隊員が途中でやめるのは採用や受け入れ態勢に問題があるのでは。

早坂町長

定住につながればという思いもあるがそれぞれの事情があり難しい。今回3月で除隊される方は剣淵に残りたい考えている。

高橋（一）委員

社会福祉協議会運営補助金と日赤奉仕団の高齢化に向けての対策は。

酒井健康福祉課長

赤十字奉仕団に限らず、他のボランティア奉仕団も高齢化により人数が減ってきているのが現状。4月より社会福祉協議会を体制強化して様々な方向性を検討する。

畠山委員

福寿寮の玄関にスロープの必要性があるのでは。

酒井健康福祉課長

現場を確認して対応を考えていきたい。

高橋（毅）委員

保育所の遊具購入と安全対策は。

田中住民課長

野外に置く小さい子ども向けの遊具となる。子育て支援なので親、保育士がついて遊ぶ形になる。

高橋（一）委員

非常に残念だが男性保育士が退職するが今後の採用予定は。

田中住民課長

男女を問わず募集をかけ女性保育士が1名入る。

生出委員

保育所の新所長は学校長の経験

はあると聞いているが幼児保育は大丈夫か。



スロープのない福寿寮の玄関

田中住民課長

学校の責任者であつたし、保育所の運営体制をマネージメントしてもらい、保育士職員の指導をしてもらう。

高橋（一）委員

健康センター調理室のガス炊飯器がカーテンと接触しており、火災の危険性があるので改善する必要があると思うが。

酒井健康福祉課長

私も確認したが本来の使い方ではなくそこにあるからそのまま使っていたという状況なので、新たに台をつくるか引き出しを下げる

か検討したい。

畠山委員

不妊治療の現在までの実績と少子化対策のためにも町独自として補助の増額を検討しては。

酒井健康福祉課長

27年度の実績はないが、増額については今後の課題として検討する。

生出委員

合併浄化槽の設置実績は。

館野建設課長

27年度は2基の設置で補助金は7万3千円となっている。

生出委員

今年度は7基分の予算計上をしているが実績を聞くと減額してもよいのでは。

館野建設課長

国への補助金申請上途中で増加となつても増額申請が出来ないのでご理解を。

高橋（毅）委員

ゴミ処分場がいつまで使用可能か、また次の埋立地の計画は。

田中住民課長

現在の埋立地は平成34年度まで使用可能とみているが、平成29年度より計画測量をして平成33年度より工事を開始する予定。

高橋（一）委員

町が管理している墓地は町内6カ所あり1131戸利用している。最近墓じまい費用がかかることから管理放棄が見受けられるが今後の町の対応は。

田中住民課長

27年度は8件が墓じまいをしている。墓地を返却する時は更地にして返すのが原則であり、放置されている所もあり現在調査を進めている。

大澤委員

プラスチックゴミはどのように処理しているのか。

田中住民課長

農業用廃プラスチックはJAと負担しながら処理しており、一般のプラスチックは再処理業者に委託している。



更に重要となるゴミ分別

高橋（一）委員

29年度より農業委員会制度が改正となり町村長の選任で委員が選出されるが町はどのように考えているのか。

早坂町長

町村長が選任して議会の承認を得ることになる。当町の農業委員の役割は大変重要なところがあるので今後近隣の状況を見ながら決めていきたい。



役割の重要な農業委員会事務局

高橋（毅）委員

稲作振興会に対する補助金減額の要因は。

村上農林課長

9万円の減額だが事業精査と近隣の和寒町の状況確認をした中で

の減額。

古山委員

キヌア栽培試験を実施するが何カ所で行うのか。

村上農林課長

28年度はまだはつきりしないがV-V-Aマルシェにお願いする部分とアルパカ牧場及び深川の拓殖短大等が主なところである。

大澤委員

地域ブランド化事業で240万円計上しているが昨年まで3年間実施してきたじゃがいもプロジェクトの成果と反省点を伺いたい。

早坂町長

剣淵産の食味の良さを一般消費者及び近隣にPRが出来た事は今後につながると思う。一方イベントがごじんまりしてしまいもっと広範囲に行うべきと感じた。今年から剣淵産農産物ブランド化を強力に推し進めたい。

畠山委員

婚活応援事業を実施しているが町内男性が対象であるが女性も考えては。

村上農林課長

委員の言うとおりだと思うがなかなか難しい問題であり、今後検討していきたい。

高橋（一）委員

近年鹿は減少傾向にあるがアライグマが出没しておりその対策は。村上農林課長

箱フナによる捕獲を重点に考えていく。

高橋（一）委員

アライグマの捕獲後の処理料はどうするのか。

村上農林課長

まだ決めていないので猟友会との会議等で検討したい。



増加が懸念されるアライグマ

卯城委員

ふるさと大使活動謝金と活動実態はどうか。

上林町づくり観光課長

現在は剣淵出身で録画センター

の井下社長にお願いをしており、情報提供やアルパカ牧場を活用しての海外からの観光旅行客の招へい事業等を実施していただいている。

大河委員

レークサイド桜岡の施設委託料が400万円増額となっている理由は。

上林町づくり観光課長

単年度の収支で経費を利用料金収入で赤字とならない程度で済むだろうと想定する額となっている。

大河委員

赤字補填ではなく赤字は赤字として計上し町民理解を得るべきではないか。

上林町づくり観光課長

赤字補填の考えではなく、現に27年度について赤字の見込みなのでご理解を願いたい。

高橋（毅）委員

橋の長寿命化で近接目視の点検は専門家でないといけないのか、また次年度からの予定は。

館野建設課長

道路法の改正により遠望目視では点検できなくなり28年と29年の2力年にかけて実施する。

大澤委員

道の駅の国道と駐車場の間が雪の山となっており道の駅がよく見えないので早急に改善を求めるが上林町づくり観光課長

駐車場分の除雪は国の管理で開発局が行っており町では行っていないが一定程度の高さで町独自で排雪も可能かと思うので、開発局に相談も含めて調整したい。

高橋（一）委員

空き家の実態状況と危険空き家に対する対策は。

館野建設課長

今回の調査は町民に知らせる事までは考えていないが業務に活用することはある。現在特に問題の家については持ち主と話を進めているがなかなか進展できない状況である。

卯城委員

公住の住み替えで高齢者への引越し費用を町が負担することでスムーズに住み替えが出来るのではないか。

早坂町長

補填という考えで行う場合はある程度強制的な要素がないとできないところがあるので、今後いろいろなケースで判断していきたい。



絵本の里けんぶち道の駅

生出委員

公営住宅ストック計画を立てるのと合わせて高齢者と元町地区の住み替えが出来るような計画をつくるべきと思うがどうか。

館野建設課長

前回計画では元町地区は解体という位置づけになっていた。今後10年の中では再検討も含め高齢者向け住宅では喜ばれない面もあるので一般向け、単身向けの方向も考えていく必要があると思う。

大澤委員

中学校費の中で昨年計画していた校舎改修でのエレベーター設置を取り下げた理由と今後の取り扱い。

半田教育長

町全体の予算が縮減された中で

補助金もつかないのでトイレの改修のみとなったが今後も2階1階のトイレを主にバリアフリー化をできる範囲で行いたい。

高橋（一）委員

小学校と高校の白樺の伐採を計画しているがその後の植林等の予定は。

鹿野教育課長

小学校については通学路が狭いので通路にする予定もあるが今年度は伐採のみ。

中村高等学校事務長

校舎から寮に行く間で強風で枝が落ちたり電柱と接触の危険等があるため伐採後は植樹が出来るか検討したい。



伐採が予定されている小学校の白樺



予算特別委員会のように

答 保育所所長、社会福祉協議会
体制強化に力を入れる



早坂純夫 町長

問 町活性化のための人材確保と
育成について



高橋 毅 議員

これからの剣淵町を考えた時に町職員の補充強化はもとより、保育所や絵本の館の職員、社会福祉協議会等の関連職員の強化も町づくりにとって重要になってきます。人材育成プログラムを作り計画的に人材育成と能力開発に努めることが、住民サービスの向上につながるのと同時に官民一体となって協働の町づくりを進める上で重要と考えます。このことが人口減少で消滅自治体と云われる危機から脱し「小さくとも光り輝く町」剣淵町を創る事につながることを考えますが町長の考えを伺います。

早坂町長

職員を含め関連団体も人材育成プログラムを作り計画的に人材育成に努めます。新年度の人材配置では人事異動や退職者の再任用制度の活用を含め適材適所に職員を配置します。保育所では学校長経験者に利用者の立場に立った高い運営理念に基づく保育環境づくりを進めてもらいます。社会福祉協議会においては、事務局体制の強化と社会福祉実践計画の推進を図るため、専門職員を確保するため

の財源補助を行ないます。さらに地域おこし協力隊員の募集によって今まで手薄であった分野をカバーしていきたいと考えています。今年度は町民対象の人材育成研修の直轄派遣事業を再開し、町づくりの中心となる人材育成を図ります。



より良い環境をめざす保育所

高橋議員

現在全国的に地方創生が叫ばれています。我が町も地方創生加速化交付金事業を申請し、絵本の里けんぶち観光地域づくり推進事業と農産物ブランド化推進事業を進めようとしています。

この事業の成否を決めるのは人材の確保と育成だと思います。役場職員の推進役と関連施設のレークサイドや福祉施設等の組織の強化が必要でマンパワーの重要性を第一に考えて、あらゆる人脈を使

い人材を確保すべきと考えますが町長の考えを伺います。

早坂町長

各先進地の成功事例でも必ず核となる人材が存在していることより、マンパワーの重要性を第一に考えあらゆる人脈を使い優れた人材の確保に努めます。地方創生加速化推進事業も核となるレークサイド等関連施設、団体とも十分協議を重ね市場でも競争力のある商品開発に努めたいと考えます。また、剣淵と関わりの深い広島県や香川県、富山県との連携も強化し、農産物や特産品、人の交流も深めたいと考えています。



専門職員が配置される社会福祉協議会

答 小学校図書室に 司書を配置する



半田教育長

問 子どもの読書環境の充実を どのように進めていくのか



畠山弘美 議員

本町の子どもがいつでもどこでも、自ら読書ができる環境をつくることを目指して「子ども読書推進プラン」が策定され、様々な事業が実施されていますが改善点はあると考えます。まずは、学校図書室の現状を伺います。

半田教育長

小中学校では、学校標準蔵書数を目標とした図書整備を進めており、達成は次年度以降を見込んでいます。小学校の図書室は常時開放されており、中学校の開館は昼休みと放課後それぞれ20分程度。高校もほぼ同じ状況です。



多くの利用が望まれる小学校図書室

子どもの居場所づくりや自主的に読書に親しむということを考えると常時開館されていることが望ましいと考えています。学校図書室の活性化と読書指導の強化を考え、新年度から小学校に司書を配置します。勤務は週4日、4時間程度昼休みや放課後に常駐し、絵本の館と連携を図りながら業務推進してもらう予定です。

畠山議員

読書推進プランのアンケート調査結果で、図書室や絵本の館の利用は学年が上がるにつれ利用率が低くなり、利用しない理由に「読みたい本がない」と答えた中高生が多い状況です。この状況をどう考えていますか。選書の方法も伺います。

半田教育長

子どもたちの希望を聞いて選書しています。子どもに本を選ぶノウハウを伝えたり、本を選ぶ能力を高めていくことは必要であります。今後は中学校にも司書を配置する体制をとりたいと考えています。また、学校での読書普及についで全体計画を立てるように働きかけます。

畠山議員

絵本の館と各学校図書室の相互利用はできないのでしょうか。また、読書普及の人材育成を考え、絵本の館で大型絵本やエプロンシアター、パネルシアターなど個人でも貸し出し可能になりませんか。

半田教育長

絵本の館と各学校間とのネットワーク化、図書の相互利用については時間や経費、システム統一など多くの課題があります。絵本の館には、貸出し不可の図書はありますが、大型絵本やエプロンシアターなどは相談していただければ貸し出しに応じることはできます。



学校図書室と相互利用が待たれる絵本の館

答 本町をPRする絶好の機会
なので協力と参加をお願いしたい



早坂純夫 町長

問 本町の応援大使の中田、
石川両選手と町民の関わりは



高橋一博 議員

北海道日本ハムファイターズでは、平成25年から道内179市町村を応援するプロジェクトを実施しております。この度抽選で中田翔選手と石川慎吾選手の2名が今年1年間本町の応援大使に決定しました。町長は町のPRのためにどのような町民参加型事業を考えているか伺いたい。

早坂町長

昨年11月22日札幌ドームでファンフェスティバルにおいて北海道179市町村応援大使ドラフトにおいて中田・石川両選手が本町を引き当てました。後日、球団担当者より両選手の直筆サイン入りユニホームや等身大パネル、ポスター等が届けられました。また、本町の成人式や剣淵高校の卒業式に両選手のメッセージが届き披露しました。これまで選手を激励するため2月に沖縄に出向き本町のふるさと絵本「ムーニャとほしのたね」やトマトジュース等をプレゼントし、3月3日には札幌で北海道179市町村応援大使プロジェクト・18市町村代表者応援大使決起集会に本町の代表で参加してきました。

今後の取り組みとしてプロ野球開幕に向け町内私設応援団を始め幅広い関係団体の参画による実行委員会を立ち上げ補助金50万円を計上し、町民の応援観戦ツアー・札幌ドームでの市町村PRイベント・OB選手による少年野球教室・両選手による本町でのトークショー・球団ホームページでの市町村紹介・札幌ドーム大型スクリーンでの特産品紹介等を計画しています。他に一口2000円でジモトートバッグという事業もあるので周知をしていきたい。本町をPRする絶好の機会ととらえているので町民の皆様は協力と参加をお願いしたいと考えています。

高橋議員

両選手のバットが試合中にもし折れたとしたら、その折れたバットを譲り受け本町の小中学生の野球チームの希望者にプレゼントすれば励みになると思うがどうか。

早坂町長

今年1年折れたバットは剣淵で貰いたいと相談したい。

高橋議員

両選手がホームランを打ったら花火を上げるとか町の特産品をプ

レゼントするというのはどうか。

早坂町長

花火も良いと思いますが、それより特産品の方が将来球団の料理に使用される可能性もあるので球団に確認するのと町民の皆様と相談をしたい。

高橋議員

バスの応援ツアーの規模は。

早坂町長

100人と考えているが希望があれば旭川開催の応援も考えたい。



本町の応援大使の中田・石川選手のパネル

高橋議員は次の質問もしました。
○選挙権年齢引き下げによる剣淵高校への周知策について

答 今は庁舎前駐車場を主軸に発着可能な状態に排雪し、確保する。



早坂純夫 町長

問 冬場のドクターヘリ、ランデブーポイントを常に確保できるようにすべきではないか



生田孝男 議員



冬場の確保が望まれるドクターヘリの離発着所

ドクターヘリは、最大で40分四方、最小でも20分四方を確保し、周囲に障害物があると着陸困難となる。冬場の役場前駐車場北側は大部分が常に雪山となり、ランデブーポイントとしては非常に困難になる。常に排雪するか雪の置き場を別に確保するか、離発着所を別に完全に確保するなどの対応をすることが町民の安全安心のために必要では。

早坂町長

確保することが最重要と考えており、現状で良いとは考えていない。今は役場前駐車場を主軸に発着可能な状態に排雪し、確保することを考えている。他の2ヶ所も除雪等点検し、確保に万全を図りたい。また日中いつでも使用可能な状態になるよう除雪された場所の選定も可能かどうか検討したい。

AEDは誰でも活用できるように設置場所の周知や講習会の実施を増やしては

生田議員

AEDを活用することで人命救助に効果を発揮する。しかし、使わなければならない事態になると使えないという人がほとんどではないかと思う。AEDは音声で順序を教えてくれ、装着して使えるかどうか判断してくれる。誰でも使えるように町民に対して常に設置場所を知らせることや講習会の実施回数を増やすなど周知することが必要ではないか。役場にあるAEDを多くの職員が使えるようにしては。

早坂町長

AEDの使用で救命率は非常に高まることは実証されている。町内の設置場所については広報誌等で速やかに町民に周知する。町民参加の講習会は自治会の出前講座、各事業所、学校単位で開催して多くの人が受講している。役場職員も各種事業の中で毎年講習会を実施し受講している。今後ともより多くの町民、職員に受講の機会を提供したいと考えている。

高齢者向け公営住宅の建設で入居者の住み替えができるのでは

生田議員

町の高齢者向けの公営住宅はあるが、一般向けの公営住宅への高齢者の入居は比較的に高い。高齢者向けの公営住宅を建設することで、入居者の住み替えも進められる。また、公営住宅不足の解消につながるのではないか。

早坂町長

私も同感に考えている。28年度に公営住宅長寿命化計画を策定するので、高齢者向け住宅の必要度を検討し、バランスの取れる供給計画を策定したいと考えている。

答 高校へ出前講座等を実施したい

問 選挙権年齢引き下げによる
対策について



半田教育長



古山久雄 議員

古山議員

教育長に質問ですが、道選挙管

改正により6月19日以降の国政選挙からは選挙年齢が18歳以上となります。啓発については選挙管理委員会が執行者ですが、高等学校を通じて総務省・道選挙管理委員会連合会のリーフレットが配布されています。また、マスコミ等で周知も行われています。選挙公報は高校生のいる世帯にも配布されるので、現時点では個別に高校生に配布することは考えていません。

早坂町長

公職選挙法は昭和25年4月施行となり、昨年6月改正案が成立し、選挙権年齢を満20歳から満18歳に引き下げることとなりました。本年執行される参議院議員選挙から適用されることから町内満18歳・19歳の方々の選挙に対する知識などの啓蒙と啓発をされているのか伺います。

また、選挙公報は各世帯に配布されるが、年齢を引き下げた事による新たな選挙権者にも配布するのかを合わせて伺います。



18才より使用される投票箱

道選挙管理委員会から町選挙管理委員会を通じて8月に高校へ打診がありました。出前講座の内容は、選挙に対する知識を深める講座や啓発のDVD視聴、グループ討議を行い、それを踏まえた模擬投票の実施等が考えられます。8月の段階では取り組み全体の考え方が定まっていなかったため、まだ実施はしていません。その後道教育委員会から各種通知があり新年度に向けては道選挙管理委員会と相談し、出前講座等について実施に向けて協議したいと考えます。

半田教育長

理委員会では高校生に選挙への関心を持つてほしいと希望した高校を対象に、出前講座を各地で開催しています。剣淵高校にその旨の話があつたか伺います。また、未実施なのであれば実施を検討しては。



本年から選挙への関心も高まる剣淵高校

親しまれる広報をめざして

町民インタビュー

インタビュー 項目

- ① 興味を感じる記事は
- ② 紙面の良い点・改善点
- ③ 町や議会に対するご意見

みんなの声がまちづくり

生産・文化活動を通し子供と 高齢者に優しい福祉の町に期待

屯田町 山口茂樹さん



- ① 一般質問は毎回注目して読んでいます。
予算・決算委員会の報告は町財政を知る上からも熟読しています。
- ② 写真が多く文字も読みやすい。
強調したい事項に波線等表現したら良いと思います。
- ③ ふるさと納税～福祉に優しい町として
返礼品に工夫があれば良いと思います。
要望意見書の要請団体の名称も掲載したらどうか。

高齢者福祉施策の充実と 若い人の雇用対策に重点を

緑町 福川隆江さん



- ① 一般質問や各委員会の質疑応答。（議会傍聴の機会がないので）
- ② ハード面だけでなく、ソフト面の記事や写真も多く見やすい。
表紙の写真（たまにはカラーを）
- ③ 若い人が地元に根付ける様な対策を町や議員の皆さんも真剣に模索してほしい。
大通りのシャッターが、町民のアイディアと有効活用で再び開くことを願っています。

産建文教常任委員会 所管事務調査報告書

1. 調査日 平成28年2月24・25日
2. 調査事項 冬期間における道の駅の取り組みについて
3. 調査の箇所 (1)だて歴史の杜 (2)みたら室蘭 (3)ウトナイ湖 (4)サーモンパーク千歳 (5)花ロードえにわ (6)ハウスヤルビ奈井江
4. 調査の所見

積極的な取り組みを行なっている



だて歴史の杜道の駅内の陳列のようす

の減少対策を行なっており、販売している野菜の説明やレシビ、生産者の顔写真も大きく張り出し諸所に工夫が凝らしてあった。本町の道の駅としても大いに参考にすべきであり、各野菜を温かい気持ちで購入していただくためにも商品陳列の工夫を各生産者それぞれの努力が望まれる。また、利用者の多い道の駅では現在本体と直売所が一体となっている施設であることがあたり前な状況となっており、



ハウスヤルビ奈井江

る道の駅では、直売所の姉妹都市提携を結んでいる自治体を中心に本州からも商品を仕入れるなどより広い範囲から品物を集め売り物

レストランも建物の端に行き止まりであるのではなく、あくまでも利用者の動線の途中に作られていることが絶対条件であるということとを強く感じた。以上の点は本町の道の駅において紛れもなく足りない点であり、今後姉妹都市を含めた本州からの商品の仕入れによる他との差別化と直売所、レストランをつなげて利用者の動線を考えることを本格的に検討していくべきである。また、イベントの開催をより充実させる積極的な事業展開、近年訪町外国人も増加していることから商品の外国語表示やスタッフの外国語会話研修も重要と思われる。



サーモンパーク千歳

組み、広域連合では、ごみ処理施設、リサイクルプラザ、都市公園、共同電算センターの管理運営を西いぶりで広域連合で行なう事例を紹介し、今後市町村での取り組みが増加してくるとの先進事例と、全国的に見た、定住自立圏の取り組み内容及び役割分担の具体例の紹介がありました。

その後、三町の情報交換を行ないました。



研修会のようす

三町議員研修会

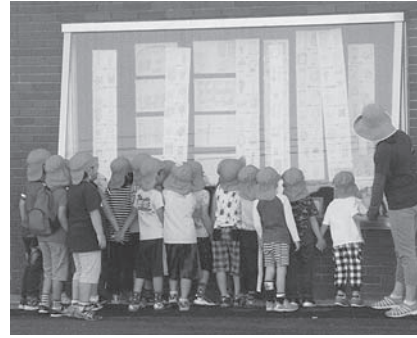
平成28年2月8日に和寒町・剣淵町・幌加内町の三町議会議員研修会があり幌加内町中央公民館で北海道総合政策部地域主権・自治体連携担当課長西田潤氏による「自治体連携」についての講演を受けました。上川中部の障がい者の総合的相談支援センターの取り

スポットライト

地域交流館(てとて)

てとてを合わせて

みんなで交流



散歩中にてとての作品を見つめる
保育所の子どもたち(2015.夏)

地域交流館てとては平成26年11月に緑町にある旧中林写真館を利用させていただき形で開設しました。それまで西原学園内にあった地域生活支援センターの事務所機能を町の中心部へ移転させ、より地域に密着した形でサービスの提供を目指していきたいとの長年の想いがやっと実現し、これからより地域に根ざした形で事業を展開していくことが出来るよう努めていきたいと考えています。

地域交流館てとての具体的な事業内容については

①障がい者グループホームの運営

②障がい者ホームヘルプサービス事業の運営

③障がい者の相談受付窓口(相談支援事業)の運営

④障がい者の日中活動の場(地域活動支援センター)の運営

が主な事業となっております。また、障がい者と健常者、高齢者や児童と様々な方たちが気軽に集い、交流を持つことが出来るような場になればとの考えから、建物内のホール等を各種イベントに利用してもらうという取り組みも始めたところです。

地域交流館てとてという名称には「障がい者も健常者も大人も子どももみんな手と手を合わせる優しい気持ちで交流できる場にした」との想いが込められています。移転してから1年半経過しましたが、まだ地域交流館てとてをご存知ない方も多いかと思えます。少しでも関心のある方は気軽に来館していただくことで、少しずつ交流の輪が広がっていくことを期待していききたいと思っています。

社会福祉法人 剣淵北斗会

地域交流館(てとて)

管理者 大熊 由佳さん寄稿

要望意見書

町民の声を国政に

平成二十八年第一回定例会に意見書が提出され、審議の結果全会一致で可決し、内閣総理大臣以下関係機関に送付しました。軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防並びにその危険性や予後の相談可能な窓口の設置を求める要望意見書について

要請団体

軽度外傷性脳損傷仲間の会

人事

議会事務局が代わりました



中村 正人

議会事務局長

4月1日付けで異動になりました。
よろしく願います。



阿部 弘

定年退職

お世話になりました

前剣淵高等学校事務長

前議会事務局長